

第9回商工センター地区活性化検討会

議事概要

- 1 開催日時 平成31年1月29日(火) 9:30~11:30
- 2 開催場所 広島サンプラザ2階 太陽の間
- 3 出席者 構成員16人中12人出席(代理を含む。)
- 4 議題
 - (1) 街区サインの設置について
 - (2) 今後のMICE施設整備の検討について
 - (3) その他

※ 以降については、事務事業の執行に関する情報等の非公開事項を除いた内容を記載

5 議事経過

○ 街区サインの設置について事務局から説明を行い、主に以下のような意見が述べられた。

- ・ 街区サインの設置に当たっては、「公共性・公益性への配慮」と「地域における合意」が必要であり、「公共性・公益性への配慮」のため、官民で調整を行い、協定を結び、連名で取り組むことは、正に官民が連携したまちづくりの共同事業であると理解できる。
- ・ 街区サインの設置について、商工センター地区全体に広がればよいと思う。
- ・ 街区の表示を見直すのであれば、同時に通りの名前を付けたらどうか。
- ・ 街区サインの設置については、2、3年かかり、段階的に実施することとなる。市と卸センターは、継続的に協議、調整をされており、市と卸センターも街区サインの設置に前向きであると理解できる。

○ 広島におけるMICEのあり方提言について事務局から説明を行い、主に以下のような意見が述べられた。

- ・ 宿泊機能やアクセス性などMICE施設を誘致する上での課題に対して、商工センター地区としてどのようなまちを目指すのかを考え、地区の持っている「売り」の部分をレベルアップし、アピールしていかなければならない。
- ・ 今の時代物事が多岐にわたって変化しており、それに対応するための土地が広島にはないということ踏まえた上で、進める必要がある。
- ・ 平面で展開すれば、確かに土地は少ないが、立体的に見ると土地の活用方法はあるのではないか。
- ・ MICE施設を整備する上で現状において欠けている宿泊施設、中心部までの交通アクセスの問題もうまく考えれば、もっと開発できると思う。その部分を受け持つべき企業などを巻き込み、やる気を持って前に進まなければ解決しないのではないか。
- ・ MICEは範囲を広島近隣ということではなく四国を含めた大きなもので考え、中四国という観点で捉える必要があるのではないか。

- ・ MICEのもう一つの目的である観光では、宮島、原爆ドームなどを結び付ける地域というコンセプトで実現を図るのであれば、街区表示の統一や外観をきれいにすることは意義あることであり、中央市場も誰もが行きたい場所となるよう変わっていけば、なおさら惹き付ける要素になるのではないか。
- ・ （市内中心部からのアクセス面の課題について）中央市場の建替えもあるため、中央市場にバスの待機場を整備すれば解決できるのではないか。
- ・ MICE施設に関しては、広島というエリアを見たときに必要ではないかと思う。大型の会議は東京ビッグサイトなどで開催されていることを踏まえると、MICE施設の必要性がある。
- ・ このエリアの集客が進むことにより中央市場が迷惑施設にならないか心配である。
- ・ アクセスの面では、岩国錦帯橋空港ができたが、広島空港とのアクセスを検討すべきだと考える。
- ・ 新井口駅からMICE施設までを具体的にどのように整備すればいいのかを考えなければならない。
- ・ MICE施設を単体で考えるよりも、むしろ商工センター地区全体のまちづくり、ビジョンをどうするのか。中四国という大きな視点や現在進行形の社会情勢の変化を踏まえた広島経済全体の動向という視点から、この地区がどのような役割が果たせるのか。中央市場の再整備や南道路の整備も踏まえて検討をするべきである。
- ・ 様々の事象が動いており、関連している。MICE施設単体で検討することも大事であるが、その機能、規模などを考える上で関連する事象を踏まえながら、大きな広がり、またタイムスパンを睨みながら検討すべきである。
- ・ 商工センター地区としては、商工会議所の提言を受け、当地区へのMICE施設整備の実現化を図る上での絶好の機会であるため、スピード感を持って検討を進める必要があるのではないか。